



地域子育てネットワークだより

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : danjoseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2753)

令和5年6月号



2週間チャレンジ！！



わが家の家事シェアシートを活用しませんか？

兵庫県では、家事シェア = 家事分担を社会全体で考える「とも家事」を開始しました。

子育て家庭などでは家事分担をしている人も多くなっている一方で、分担がわかりにくい家事や生活の中で増えていく家事は一人に負担がかかっていることも！

みなさんがしている家事を「見える化」して、具体的に話し合うための1つとして作ったのが「家事シェアシート」です。

このシートに書き込むことで“わが家流”の家事シェア法をみつけて夫婦で家事を分担し、ともに豊かな人生を歩むために始めてみませんか！



「家事シェアシート」の詳細はこちら

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/tomokaji/kajisheasito.html>



「ひょうご子育て応援の店」

嬉しいサービスがいっぱい♪

県では、子育て世帯を応援するため、企業や店舗の協賛による料金割引や子ども連れが利用できる授乳室の設置など、様々なサービスを実施しています。ぜひ会員登録してご利用ください。

子育て世帯応援サービスを提供いただける店舗の登録も募集中！！

★サービス/特典例 ※各企業・店舗により異なります。

- ◎ 料金の割引（特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等）
- ◎ 協賛店が主催する行事への参加（子供向け行事への参加等）
- ◎ 子ども連れにやさしい設備の利用（プレイルーム、授乳室、ベビーベッド等）

★サービスを利用できる会員の登録方法（登録：無料）

	スマホの場合	パソコンの場合
1	QRコードを読み込み表示されるアドレス (apply@hyogo-kosodate.jp) に空メールを送信	「ひょうご子育て応援の店」HP → 「パスポート会員登録」ページへ → ①「会員登録ページ」をクリック → メールアドレスを入力・送信
2	送られてきたメールに記載された URL をクリック → 必要な項目を入力し送信 → パスポート画像のURLが届きますので店頭でご提示ください	

※ 往復はがきでも受け付けています。

★ 詳しくは、「ひょうご子育て応援の店」ホームページ (<http://www.hyogo-kosodate.jp/>) をご覧ください。



このマークが目印！



QRコード



画面イメージ

子育て応援ネットの活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します



南あわじ子育て推進協議会は、自治会やPTA、市民交流センター等が推進員を構成しています。令和4年度の全体的な取組として、近年問題となっているスマートフォンやインターネットの被害から子どもを守るため、連合PTAと連携して親子で話し合うリーフレットを市内小中学生全家庭に配布しました。また、**地域が一つの家庭となり子どもを育てる**本会の活動を広げるため、啓発グッズを配布しました。その他、青少年補導委員会の活動を支援し、「体験による子育て」をテーマとした講演会を開催しました。参加型の講演会では、学校の先生方も一緒に参加し、笑顔と楽しそうな会話が広がっていました。今年度は、就学前の子育て家庭の集いの場である「ゆめるんセンター」の活動を支援し、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

南あわじ子育てネットワーク推進協議会
事務局 山岡 正和



まちの子育てひろばの活動紹介

神戸市須磨区 「りすっこママ」

「りすっこママ」は神戸市須磨区菅の台・竜が台地区にお住まいの未就園児家族を対象にした**子育てを応援するサークル**です。ふれあいのまちづくり協議会のサポートをいただいで、菅の台地域福祉センターで**月2回親子ひろばを開催**しています。各回定員15組の事前申し込み制で、親子遊びやおはなし会、クラフト、自由遊びなどを楽しんでいます。

2022年度は、初めて**ひろばアドバイザー**の先生をお迎えして、**体操と音楽遊びを体験**



しました。小さな挑戦に緊張したり夢中になったりしている子供達のそばで、周りのお子さんにも応援の声をかけるママたちがとても温かく、素敵な時間を過ごせました。

子供達の成長をみんなで見守る、そんなひろば活動を大切にしています。

連載

第163回

気をつけるべきは感染症だけでない ～熱中症対策を忘れずに～



県立こども病院名誉院長 中村 肇

コロナ5類移行がようやく正式決定しました。マスク着用も個人の判断に任せられることになりました。

これから気温が高くなる夏に向かいます。**注意すべきは熱中症**です。**熱中症は真夏よりも、まだ暑さに身体が馴染んでいない夏の初めに多くみられます。**

言葉が話せない乳幼児は、喉が渇いてもそれを訴えることができません。ベビーカーに乗せて外出するときは、注意が必要です。**地面近くの温度は高くなっています**ので、できるだけ日陰を通行するようにしましょう。また、子どもは喉が渇くのも忘れて**遊びに夢中**になります。脱水に十分注意して、**こまめに水分補給をする**ように気をつけてください。

戸外で遊ぶ時や運動をするときには、必ずマスクを外すようにしてください。マスクをしていると、吐く息の体温がこもることになり、熱中症の原因になります。

ぐったりした様子や嘔吐、筋肉がつるなどの症状がみられたときは、熱中症の可能性が強いので、**体を冷やしてすぐに病院を受診**しましょう。

